

世界初 オフィスビル組込み「サイクルツリー」を受注
～高い収容効率と利便性でオフィス空間の駐輪場ニーズに対応～

JFEエンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、社長：岸本純幸）はこのたび、世界で初めてオフィスビルに組み込んだ機械式立体駐輪場「サイクルツリー」を受注しましたのでお知らせします。

受注したのは、清和綜合建物株式会社（本社：東京都港区、社長：上野徹郎）が大阪都心部で新規開発する（仮称）清和梅田ビルの駐輪場です。

このビルの開発にあたり、大阪市条例で定められている駐輪場の附置義務^{※1}に対応し、加えて最先端のオフィスビルとして、自転車を使用する入居者や来客者の利便性を向上するべく、機械式駐輪場の導入が決定されました。

今回採用された「サイクルツリー」は、地上1階から2階部分にかけて立体的に収容棚を配置することで、わずか直径7mほどの円筒型スペースに合計90台の自転車を格納することができます。また利用者は、全自動でスピーディに出入庫口から出し入れすることが可能です。

こうした都心部で限りあるビル空間を有効活用できる収容力と利用者の利便性がお客様から高く評価され、今回の受注につながりました。

当社は、2001年の1号機の完成以来、駅前駐輪対策のインフラとして全国の自治体を中心にサイクルツリーを受注しています。「円筒型」や「水平型」など設置条件に最適な提案ができるラインナップで、機械式駐輪場においてNO.1の納入実績を有しています。

今後当社は、附置義務が全国の都市部で広がりを見せる中、公共施設に加えて自転車社会を推進する先進的なオフィスビルや商業ビルに対しても、サイクルツリーの技術提案を展開してまいります。

※1 2010年制定。市全域で、300㎡以上のビルを新築、増築、改築する際、敷地内に、面積等に応じた台数の駐輪場の設置を義務付けている。

■ 受注概要

1. 施 主 : 清和綜合建物株式会社
2. 元請企業 : 清水建設株式会社
3. 収容台数 : 18台×5段=90台
4. ビル完成予定 : 2015年3月

■ (仮称) 清和梅田ビル (完成イメージ図)



■ ビル組込み型サイクルツリー (イメージ)



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。
J F Eエンジニアリング株式会社 総務部広報室